

Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

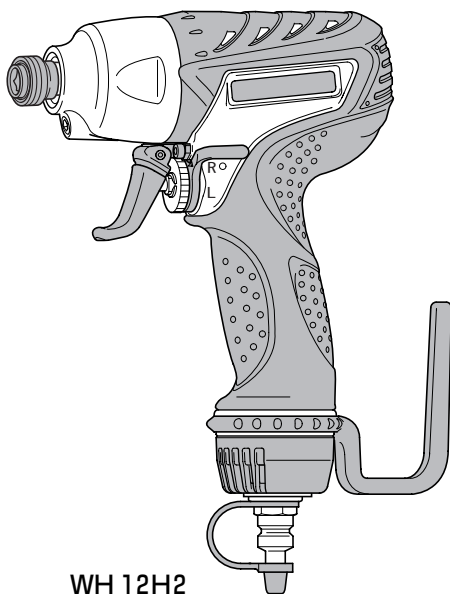
取扱説明書

用途

- 木工用ねじ（なげしビス、万能ビス）などの締付け、ゆるめ作業

日立高圧 エアインパクトドライバ WH 12H2

日立 エアインパクトドライバ WH 12AB2



WH 12H2

このたびは日立高圧エアインパクトドライバ／日立エアインパクトドライバをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

本製品の安全上のご注意	1
各部の名称	6
標準付属品	6
仕様	6

はじめに

ご使用前の準備・点検	7
基本機能について	9
快適な使用環境について	11
連続作業について	12
ねじを締める・ゆるめる	13

使い方

保守・点検	15
ご修理のときは	裏表紙

その他

HITACHI

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

本製品の安全上のご注意

- けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

作業前

① 保護メガネを使用してください。

- 作業中は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。
- まわりの人にも保護メガネをかけさせてください。打ち損じのねじ等が目にあたると、けがの原因になります。

①

保護メガネ



② エアコンプレッサ以外の動力源は使用しないでください。

- エアインパクトドライバは、エアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパンなど）を使用すると、爆発の恐れがあり、事故の原因になります。

②

エアコンプレッサ



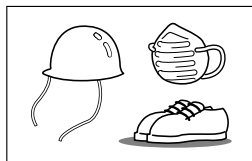
⚠ 警告

③ 高圧エアインパクトドライバ(WH 12 H2)には、高圧釘打機用エアコンプレッサと、専用の高圧エアホースを使用してください。【高圧エアインパクトドライバ(WH 12 H2)のみ】

- 高圧エアインパクトドライバ(WH 12 H2)は、使用圧力を一般圧のエアインパクトドライバより高く設定しています。高圧釘打機用エアコンプレッサと専用の高圧エアホースを使用してください。
- 高圧エアインパクトドライバ(WH 12 H2)およびこれらのエアコンプレッサ、エアホースのエアプラグ、エアソケットも専用となっており、一般圧のものと接続できないようにしてありますので、改造をしないでください。
これら以外のものを使用すると事故の原因になります。

④ 機体の排気音や排気空気から耳を保護するため、 防音保護具を着用してください。

⑤ 作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。



⑥ きちんとした服装で作業してください。

⑦ エアホースを接続する前に、次の点検をしてください。

- ねじ類がゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に動作しない部品がないこと。
- 異常のあるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

⑧ エアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- 引金に手を触れない。
- 回転部(アンビル、ビット)を人体に向けない。
- 誤って動作した場合、けがの原因になります。

⑨ 工具類を取付ける前に、エアホースを接続し、次の点検をしてください。

- エアホースを接続しただけで、アンビルやスリーブが動作しないこと。
 - エアホースを接続しただけで、機体内部のエアモータなどの作動音がしないこと。
 - 空気漏れや異常音がしないこと。
- 異常のあるまま使用すると、事故やけがの原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、けがなどの事故の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

⑪ 工具類は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

- 確実にしないと、はずれたりして、けがの原因となります。

⚠ 警告

⑫ 用途にあった作業に使用してください。

- この機体は、木工用ねじ(ビス)の締付け、および、ゆるめ作業を目的とした工具です。
- 指定された用途以外には使用しないでください。

⑬ 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、エアインパクトドライバやエアホースに触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

⑭ 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
- 暗い場所での作業は、事故の原因になります。

⑮ 作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを作業前に十分確かめてください。

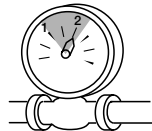
作業中

① 指定の空気圧力で使用してください。

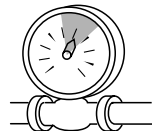
- 高圧エアインパクトドライバ(WH 12H2)の使用空気圧力範囲は0.98~2.26MPa {10~23 kgf/cm²}です。
この範囲内で使用してください。
2.26MPa {23 kgf/cm²}を超えた空気圧力で使用すると、機体の破裂や損傷の恐れがあり、けがの原因になります。
- エアインパクトドライバ(WH 12AB2)の使用空気圧力範囲は0.49~0.78MPa {5~8 kgf/cm²}です。
この範囲内で使用してください。
0.78MPa {8 kgf/cm²}を超えた空気圧力で使用すると、機体の破裂や損傷の恐れがあり、けがの原因になります。

①

0.98 ~ 2.26 MPa
{ 10 ~ 23 kgf / cm² }



0.49 ~ 0.78 MPa
{ 5 ~ 8 kgf / cm² }



② 使用中は、ビットなどの回転部を人体に向けたり、手や顔などを近づけないでください。

- けがの原因になります。

③ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

- 可燃性の液体やガス(シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など)のある所で、エアインパクトドライバやエアコンプレッサを使用しないでください。
空気といっしょに吸引圧縮され、爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

④ ねじを締めるとき以外は、引金に指をかけないでください。

- 引金に指をかけて、持ち運びしたり、手渡しなどをしないでください。

⚠ 警告

- ⑤ 次の場合は、エアホースをはずし、圧縮空気を抜いてください。
- 使用しない場合や作業中断時、使用後。
 - 点検・修理・調整などの場合。
 - ビットなどの付属品を交換する場合。
 - エアインパクトドライバを移動する際や手渡しする場合。
誤ってエアインパクトドライバが作動し、けがの原因になります。
- ⑥ 引金に指をかけた状態でエアホースをはずさないでください。
- 誤ってエアインパクトドライバが作動し、けがの原因になります。
- ⑦ ねじを締めるときは、ねじを確実に対象物に当ててください。
- ねじを確実に対象物に当てないと、滑って思わぬ方向へねじが押し出されたりして、けがの原因になります。
 - ねじを確実に対象物に当てないと、ねじが確実に締め込まれずに保持力低下やねじ頭の傷、ビットの摩耗の原因となります。
- ⑧ 作業中はまわりの人に注意してください。
- 締め損じたねじ等が当たる恐れがあり、けがの原因になります。
 - 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑨ 薄い板や木材の端にねじを締めないでください。
- 薄い板に締めるとねじが突き抜けたり、木材の角に締めるとねじがそれたりして、けがの原因となります。
- ⑩ 使用中は、振り回されないようエアインパクトドライバを確実に保持してください。
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑪ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
 - 高所作業のときは、ねじ締め作業中に落ちることのないように十分足場の安全性を確認してください。
けがの原因になります。
- ⑫ 屋外での作業は、次のことに注意してください。
- 高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに固定してください。
不意にエアホースを引っかけたりした場合、けがの原因になります。
 - 屋根などの斜面でねじを締めるときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。
 - 床などの水平面でねじを締めるときは、前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。
 - 壁などの垂直面にねじを締めるときは、上から下へ作業してください。

警告

⑬ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- エアインパクトドライバを使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、まわりの状況など、十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑭ エアホースをつかんで機体を移動しないでください。

⑮ フックを使用するときは、必ず引金から指をはなし、エアホースをはずしてください。

- 誤ってビットなどの工具が回転し、けがの原因になります。

⑯ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

- 内部の圧縮空気で破裂の恐れがあり、けがの原因になります。

⑰ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常を感じたときは、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

- そのまま使用していると、けがの原因になります。

作業後

① 作業後は、必ずエアホースをはずしてください。

② エアインパクトドライバやエアコンプレッサ、エアセットは直射日光に長時間当てたまま放置しないでください。

③ エアインパクトドライバは、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、エアインパクトドライバは常に手入れをし、清潔に保ってください。
- 付属品のお手入れは、取扱説明書に従ってください。

④ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

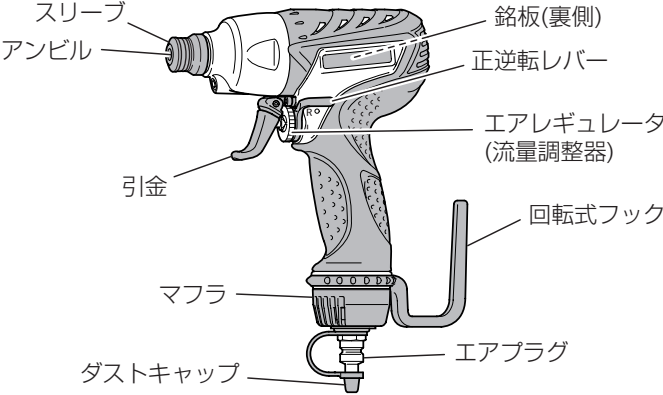
⑤ 部品をはずしたり、改造をしないでください。

- 安全性が損なわれ、けがの原因になります。

⑥ エアインパクトドライバの修理は、専門店に依頼してください。

- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
- ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

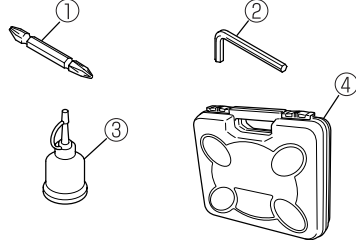
各部の名称



(イラストは高圧エアインパクトドライバ WH 12H2 です)

標準付属品

- ① プラスドライバビット…………… 1 本
(No. 2、長さ 65 mm)
- ② 六角棒スパナ 4 mm…………… 1 個
- ③ 油さし…………… 1 個
- ④ ケース…………… 1 個



仕 様

機種名 形 名	高圧エアインパクトドライバ WH 12H2	エアインパクトドライバ WH 12AB2
動 力 形 式	エアモーター回転式	
使用空気圧力	0.98 MPa～2.26 MPa { 10 ～ 23 kgf/cm ² }	0.49 ～ 0.78 MPa { 5 ～ 8 kgf/cm ² }
能力 (使用ねじ)	木工用ねじ (ビス)	ねじ外径 3.2 ～ 5.6 mm
無 負 荷 回 転 数	0 ～ 10,000 min ⁻¹	
機 体 の 大 き さ	長さ 146 mm × 高さ 213 mm × 幅 55 mm	
質 量	1.0 kg	
ビット挿入寸法	6.35 mm (六角の二面幅寸法)	
使用コンプレッサ	日立高圧エアコンプレッサ EC 1443 H	
		一般圧エアコンプレッサ EC 922
使用エアホース 内径・長さ	日立高圧エアホース 6 mm 以上・10、20、30 m	一般圧エアホース 8.5 mm 以上・10、20、30 m

ご使用前の準備・点検

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

●エアコンプレッサ、エアホースの準備

⚠ 警告

- 高圧エアインパクトドライバ(WH 12H2)は、使用圧力を一般圧のエアインパクトドライバより高く設定しています。高圧釘打機用エアコンプレッサと、専用の高圧エアホースを使用してください。
- 高圧エアインパクトドライバ(WH 12H2)およびエアコンプレッサ、エアホースのエアプラグ、エアソケットは専用となっており、一般圧のものと接続できないようにしてあるので、改造しないでください。

高圧エアインパクトドライバ(WH 12H2)に使用できる高圧エアホースの内径は6 mm以上です。エアホースをエアコンプレッサにしっかり接続してください。

注 エアホースの長さは、30 m 以内のものをお使いください。

エアホースが長いと圧力が降下して、十分な締付力が得られません。

●エアコンプレッサのドレン除去

水や油が内部にたまりますと、さびの発生などで故障の原因になります。ご使用前には、エアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きをゆるめて、内部にたまった水や油を除去してください。乾燥した清浄な圧縮空気を使用してください。(詳細はエアコンプレッサの取扱説明書をご参照ください。)

⚠ 警告

- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 子供など作業員以外は近づけないでください。
- ねじ類がゆるんでいないことを、十分に点検してください。
- 損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に動作しない部品がないことを点検してください。

P15「保守・点検」を参照し、安全点検を必ず行ってください。

●空気圧力の確認

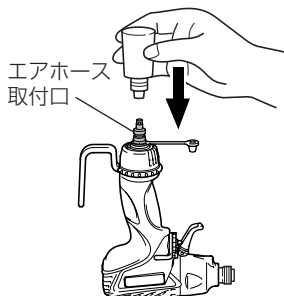
空気圧力は、ねじのサイズ(ねじ径、部材の硬さなど)に合わせて、高圧エアインパクトドライバ(WH 12H2)は0.98 ~ 2.26 MPa { 10 ~ 23 kgf / cm² }、エアインパクトドライバ(WH 12AB2)は0.49 ~ 0.78 MPa { 5 ~ 8 kgf / cm² } の範囲で調整してお使いください。

空気圧力が使用範囲外となった場合、機体の性能、寿命、安全に影響を及ぼします。

●給油について

必ず1日に2回以上給油してください。
給油は、付属の油を作業の前後に10～15滴の油をエアホース取付口から入れてください。

作業前の油は潤滑油となり、作業後の油はさび止めとなります。



注・高圧エアインパクトドライバ(WH 12H2)に付属の油さしは、ノズルに穴が空いています。先端を切らずにご使用ください。

また、中栓がしてありますので、中栓を取りはずしてからご使用ください。
ご使用にならないときは中栓をして保管してください。

- ・使用潤滑油は、『日立釘打機・タッカ用オイル』を使用してください。不適切な油を使用すると動作不良の原因になります。
- ・給油直後空気を通すと、しばらくの間油が排気口より噴霧状に飛び散りますので、油がかかっても支障のない所で2～3秒カラ回転(無負荷運転)させ、オイルをモータ内に循環させてください。
- ・作業後給油した場合、2～3秒カラ回転(無負荷運転)させますと油が内部に行き渡ります。

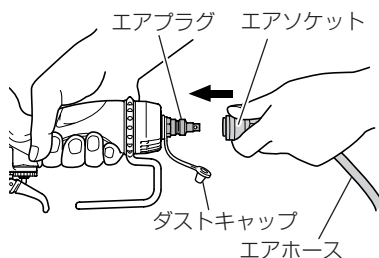
●エアホースの接続

⚠ 警告

機体にエアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- ・引金に手を触れない。
- ・回転部(アンビル、ビット)を人体に向けない。

- ① エアプラグからダストキャップをはずします。
- ② ごみやほこりが内部に入らないよう、エアプラグの口元のごみをふき取ります。
- ③ エアソケットをエアプラグにしっかりとさし込んでエアホースを接続します。



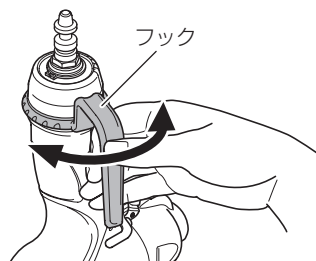
基本機能について

●回転式フックの使い方

⚠ 警告

- フックを使用するときは、引金から指をはずし、ビットとエアホースをはずしてください。
- フックを使用するときは、工具本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
工具本体が落下すると事故の恐れがあります。

フックは手で簡単に回転させることができます。

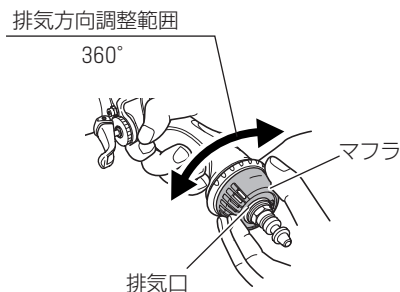


●排気方向の変え方

⚠ 警告

排気方向の調整をするときは、必ず引金から指をはなし、エアホースをはずしてください。

マフラをまわして排気口の向きを 360° の範囲で変えることができます。

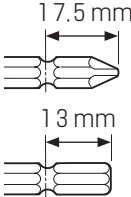
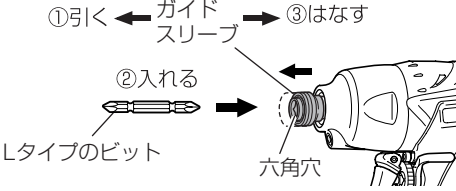
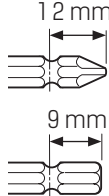
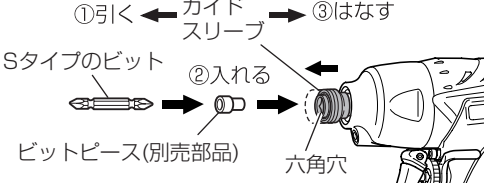


⚠ 注意

排気を人体に向けないでください。

●ビットの取付け・取りはずし

ビットのサイズに合わせて、下表の手順で確実に取付けてください。標準付属品および当社指定のビットのサイズはLタイプです。Sタイプのビットを取付ける場合はビットピース（別売部品）が必要です。

ビットのサイズ	ビット ピース	ビットの取付け方
Lタイプ 	不要	 ガイドスリーブを先端側に移動させ、ビットを六角穴にさし込み、ガイドスリーブをはなします。
Sタイプ 	必要	 ガイドスリーブを先端側に移動させ、ビットピース、ビットの順で六角穴にさし込み、ガイドスリーブをはなします。

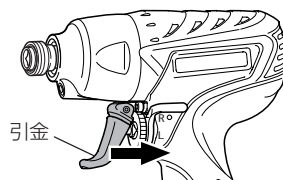
取りはずす場合は、取付け方と逆の要領で行ってください。

- 注**・ビットを取付け、ガイドスリーブがもとの位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットが六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。
- ・上記サイズ以外のビットまたはSタイプにビットピースを取付けないで無理に使用しないでください。
- 作業中にビットが抜けたり、取りはずせなくなることがあります。

●引金の操作について

引金の引きぐあいによって、低速から高速まで2段階に回転数が変わります。

引金を少し引くと低速回転し、多く引くと高速回転します。



注 スタート時にエア漏れし、回転しない場合は次の方法のいずれかを実施してください。回転しやすくなります。

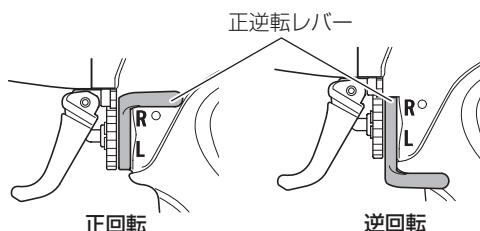
- ① 高圧エアインパクトドライバ (WH 12H2) は圧力 1.76 MPa 以上、エアインパクトドライバ (WH 12AB2) は圧力 0.69 MPa 以上、エアレギュレータの目盛り 4 にて、引金をいっぱい引いて数回カラ回転をさせてください。
- ② エアホースをつないだまま、正逆転レバーを操作し、回転方向を切替え、引金をいっぱい引いて数回カラ回転をさせてください。
- ③ エアホースをはずしてから手でアンビルを 2 ～ 3 回回転させてください。その後、エアホースをつなぎ、引き金を引いてください。

●回転方向の切替えについて

正逆転レバーを R 側にすると、ビットは後側から見て右にまわります。(正回転)

L 側にすると、左にまわります。(逆回転)

注 正逆転レバーは R または L の位置にきちんと合わせてください。R と L の間にするとまわりません。



快適な使用環境について

高圧エアインパクトドライバ (WH 12H2) / エアインパクトドライバ (WH 12AB2) を快適にお使いいただくために、次の準備、設定をおすすめします。

機種名 形 名	高圧エアインパクトドライバ WH 12H2	エアインパクトドライバ WH 12AB2
エアコンプレッサ	出 力：1.25 kW 以上 設定圧力：2.26 MPa 接 続：コンプレッサ1台に 本機1台を接続	出 力：0.9 kW 以上 設定圧力：0.78 MPa 接 続：コンプレッサ1台に 本機1台を接続
エ ア ホ ー ス	内 径：6 mm 以上 長 さ：30 m 以内	内 径：8.5 mm 以上 長 さ：30 m 以内
給 油	使用前後に 10 ～ 15 滴程度	

連続作業について

下表にねじの種類と、次に締付けるまでの作業間隔（休み時間）および連続作業の状況の目安を示します。

これを参考に、適度な作業間隔をとって作業を行ってください。

【作業条件】

機種名	高圧エアインパクトドライバ WH 12H2	エアインパクトドライバ WH 12AB 2
エアコンプレッサ	出力：1.25 kW以上 設定圧力：2.26 MPa { 23 kgf/cm ² }	出力：下表参照 設定圧力：0.78 MPa { 8 kgf/cm ² }
接続	コンプレッサに本機1台のみ接続	
エアホース	6 mm × 30 m	8.5 mm × 30 m
本機エアレギュレータ設定	4	
材料	ツガ	

高圧エアインパクトドライバ(WH 12H2)

ねじ形状	作業間隔	連続作業の状況
長さ 90 mm 径 4.5 mm	5 秒	連続締付け可能
長さ 120 mm 径 5.3 mm	5 秒	10 本まで締付け可能※
	15 秒	連続締付け可能

エアインパクトドライバ(WH 12AB 2)

ねじ形状	作業間隔	エアコンプレッサ出力	
		1 kW	1.25 kW以上
長さ 90 mm 径 4.5 mm	5 秒	連続締付け可能	連続締付け可能
長さ 120 mm 径 5.3 mm	5 秒	10 本まで締付け可能※	} 連続締付け可能
	10 秒	連続締付け可能	

※作業間隔が5秒では短く、エアコンプレッサの空気圧力が上がりきりません。
このため10本までしか締付けできません。

注 • 90 mm以上の長いねじには、出力1.25 kW以上のエアコンプレッサをお使いください。

出力の小さいエアコンプレッサでは空気圧力が下がり締まらないことがあります。

- 120 mm以上の長いねじや硬い木材の場合、締まらないことがあります。
作業前に試し締めを行って、確認してください。

ねじを締める・ゆるめる

木工用ねじ（なげしビス、万能ビス）などの締付け、ゆるめ作業。

⚠ 警告

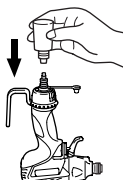
- 使用しない場合や作業中断時は、エアホースをはずしてください。
- ボルト・ナット締付け作業には使用しないでください。ソケットや機体が破損する恐れがあり、けがの原因となります。

1

給油する

10～15 滴の油をエアプラグから入れてください。
さび止めのため、作業後も給油してください。

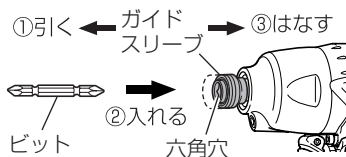
(P 8「給油について」参照)



2

ビットを取付ける

軽く引いて抜けないことを確認してください。



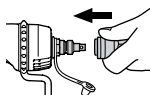
(P10「ビットの取付け・取りはずし」参照)

3

エアホースを接続する

エアホースのエアソケットをエアプラグにさし込みます。

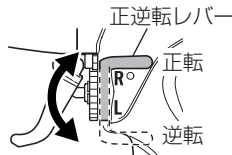
(P 8「エアホースの接続」参照)



4

回転方向を合わせる

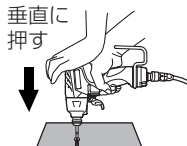
正逆転レバーで回転方向を選択します。



(P11「回転方向の切替えについて」参照)

5

回転速度を設定し、作業する

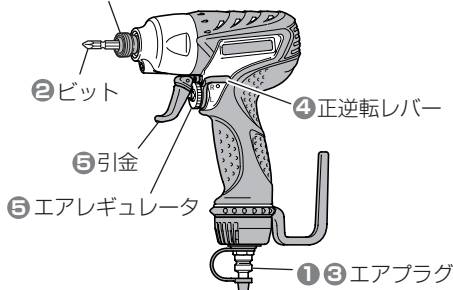


(P 14「回転速度の設定」
「締付け作業上のご注意」参照)

注 • 低温時に使用すると、機体の動作が悪くなったり、締付時間が長くなることがあります。

• 作業後は、エアコンプレッサの空気を抜いて、空気圧力を 0 にしてください。ドレン抜きをゆるめると同時に、タンク内のドレンが除去されると同時に、圧縮空気が抜けて空気圧力が 0 になります。

② ガイドスリーブ

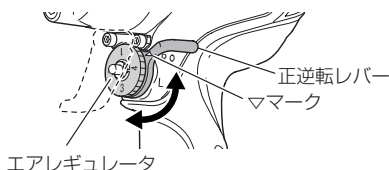


●回転速度の設定

エアレギュレータ（流量調整器）をまわすことで、最高回転速度を4段階に設定できます。作業条件に合った回転速度でお使いください。

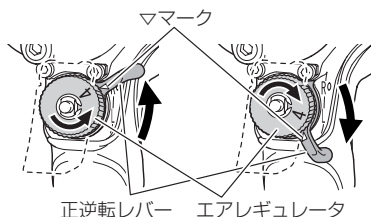
エアレギュレータをまわし、目盛を正逆転レバーの▽マークに合わせます。

目盛“4”が最高速で、目盛“1”が最低速です。下表を目安に設定してください。



エアレギュレータの目盛	作業（ねじ）の目安
4（最高速）	なげしビス 長さ 75 ～ 120 mm など
3	なげしビス 長さ 75 mm 以下 など
2	小径ねじ 木ねじ 径 3.5 mm
1（最低速）	

正逆転レバーを切替えると、エアレギュレータもいっしょに動きますが▽マークが指す目盛りは変わりません。したがって、設定した回転速度も変わりません。



●締付け作業上のご注意

ねじ締め開始時には引金を少し引いて、ゆっくりスタートしてお使いください。

押付け力はねじの頭からビットがはずれない程度で十分です。

締付けるねじに対し本体が斜めになると、ねじ頭部を傷めたり、所定の締付け力がねじに伝わりません。締付けるねじと本体はまっすぐにして締付けてください。

- 注**
- ねじ締め作業中にアンビルが回転しなくなった（ハンマロックした）場合は、引金をもう一度引きなおしてください。再び打撃ようになります。
 - スタート時にエア漏れし、回転しない場合は次の方法のいずれかを実施してください。回転しやすくなります。
 - ① 高圧エアインパクトドライバ（WH 12H2）は圧力 1.76 MPa 以上、エアインパクトドライバ（WH 12AB2）は圧力 0.69 MPa 以上、エアレギュレータの目盛 4 にて、引金をいっぱい引いて数回カラ回転をさせてください。
 - ② エアホースをつないだまま、正逆転レバーを操作し、回転方向を切替え、引金をいっぱい引いて数回カラ回転をさせてください。
 - ③ エアホースをはずしてから手でアンビルを 2 ～ 3 回回転させてください。その後、エアホースをつなぎ、引金を引いてください。

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずエアホースをはずしてください。

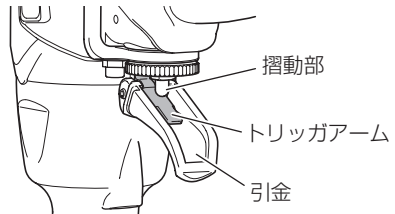
●ドライバビットの点検

先端部が摩耗したり折損したドライバビットを、そのまま使いになると、すべて、けがなどの原因になりますので、新品と交換してください。

●引金部の点検

引金部はときどき掃除してください。とくにトリッガアームと引金の間に異物等がはさまっていないか確認してください。

また、摺動部は定期的に付属の油を注油してください。
油を注ぐことにより、スムーズに動作すると同時にさび止めにもなります。

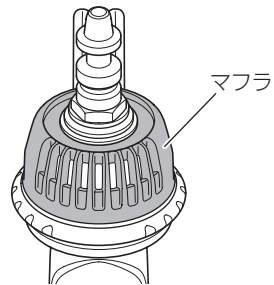


●マフラの点検

この機体は、排気時の騒音やホコリの巻き上げを少なくするため、排気部にマフラを内蔵しています。

マフラが目づまりや破損したときは、マフラを交換してください。

マフラ交換の際は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。



●オイルの補充について

⚠ 警告

ハンマ部へオイルを注油する際は、必ずエアホースをはずしてください。

⚠ 注意

オイルは、あまり入れすぎると抵抗となり、トルクがなくなりねじ締め能力が低下します。

- 注**・高圧エアインパクトドライバ(WH 12H2)に付属の油さしは、ノズルに穴があります。先端を切らずにご使用ください。
また、中栓がしてありますので、中栓を取りはずしてからご使用ください。
ご使用にならないときは中栓をして保管してください。
- ・使用潤滑油は、『日立釘打機・タッカ用オイル』を使用してください。不適切な油を使用すると動作不良の原因になります。

本機はハンマ、アンプルの潤滑にオイルを使用しています。

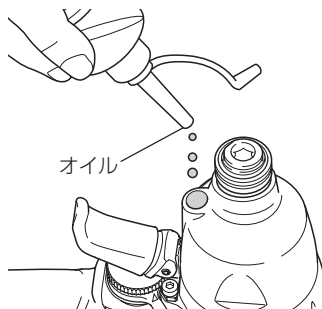
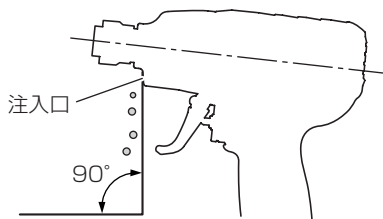
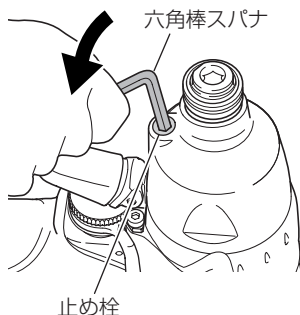
1ヶ月に1度、必ずオイルの量を確認してください。

①付属の六角棒スパナで止め栓を取ってください。

②注入口が垂直になるように、本機を傾けてしばらく待ちます。

オイルが注入口からあふれ始めれば注油する必要はありません。あふれ出ない場合は付属の油を注油してください。

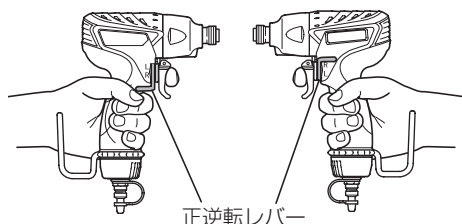
③付属の六角棒スパナで止め栓を取付けてください。



●正逆転レバーの取付け方向について

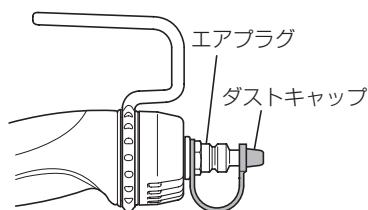
本機は、正逆転レバーをそれぞれ反対側に取付けることができます。

組換えをご希望の際は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。



●ごみ・ほこりの防止

使用しないときはエアプラグにダストキャップをつけ、機体内にごみが入るのを防いでください。



●各部取付ねじの点検

各部取付ねじでゆるんでいるところがないか、定期的に点検してください。

ゆるんでいるところがある場合は、締めなおしてください。

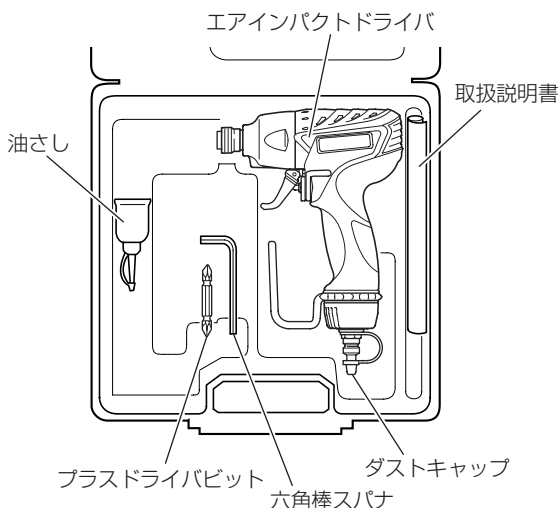
●作業後の保管

注 エアプラグにダストキャップをさし込むときは、機体をさかさにして十分水抜きしてからさし込んでください。

- さび防止のため、エアプラグから給油し、2、3秒カラ回転して油を内部に行き渡らせてください。
- 作業後は、機体の内部にごみやほこりが入らないよう、ダストキャップをエアプラグにさし込み、ケースに入れて保管してください。機体と付属品は下図のようにケースに入れてください。
- 長期間使用しない場合は、
 - ・鉄の部分や引金摺動部には油をうすく塗布してください。
 - ・油は、付属の油をご使用ください。付属の油がなくなりましたら、お買い求めの販売店または日立電動工具販売店で『日立釘打機・タッカ用オイル』をお買い求めください。

注 不適切な油を使用すると動作不良の原因になります。

- 気温が下がると、ゴム製部品の収縮で空気が漏れ、始動が悪くなる場合がありますので暖かい場所に保管してください。
- お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。



ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないで買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご相談ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。その他、部品ご購入の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(N0.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(N0.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店 TEL (011) 271-4751 (代) 〒060-0003 札幌市中央区北三条西4丁目1番地1 (日本生命札幌ビル)
東北支店 TEL (022) 288-8676 (代) 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
関東支店 TEL (03) 5812-6331 (代) 〒110-0016 台東区台東4丁目11番4号 (三井住友銀行御徒町ビル)
中部支店 TEL (052) 262-3811 (代) 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号 (コスモ栄ビル)
北陸支店 TEL (076) 263-4311 (代) 〒920-0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店 TEL (06) 4796-8451 (代) 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目6番20号 (スノークリスタル)
中国支店 TEL (082) 228-0537 (代) 〒730-0011 広島市中区基町11番13号 (第一生命ビル)
四国支店 TEL (087) 863-6761 (代) 〒760-0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店 TEL (092) 621-5772 (代) 〒813-0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」



0120-208822 (フリーダイヤル・無料)

※携帯電話からはご利用になれません。

(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

国内営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)